



第18号 創立80周年特集号 平成16年10月1日発行 編集・発行 〒426-8577 藤枝市天王町1丁目7-1 静岡県立藤枝東高等学校 同窓会 電話 054-641-1680(代) 印刷 〒426-0041 藤枝市高柳1丁目18-23 共立印刷株式会社 電話 054-635-4651(代)

同窓会長に横田 堯氏就任される

平成十六年度同窓会合同役員会の報告 平成十六年七月三日(土)午後六時より「小杉苑」にて開催されました同窓会合同役員会にて、横田堯氏が正式に会長として承認されました。同時に副会長、特別顧問、常任委員、監事についても次の通りとなり、新年度のスタートを切りました。また今年度より新たに特別顧問として望月靖彦校長をお迎えいたしました。前会長の石田哲夫氏は、顧問として引き続き活動をしていただきます。横田会長は、昨年末より前会長石田氏の病気にともない、会長代行として実務を行ってまいりました。 本役員会・会長・横田 堯 (34回) 副会長・大石鉄郎 (26回) 一言正廣 (30回) 八木 洋 (32回) 曾根恵津広 (41回)



「皆様の同窓会へ、力を貸してください」

同窓会長 横田 堯 (34回)

私はこの度合同役員会(総会)にて会長に選出されました。三十四回生の若輩者であり身に余る重責であります。折角のご推挙ですのでお引き受けしました。昨年末石田前会長が病に倒れ急遽会長代行と同時に「サッカー全国大会出場支援実行委員会」の委員長にも任せられました。全同窓生に支援をお願いし、お蔭様で報告の通りの成果を得ました。お蔭様で改めて厚く御礼申し上げます。募金活動やその後の同窓会運営を通じて同窓生の団結力と校技であるサッカー部の伝統の力を再確認しました。その上役員の方々を始めとする多くの同窓生の心温かい友情を得て、益々深まっていく愛校心を自覚しました。

私達の母校は大正十三年千南原に志太中学校として創設されて以来八十年の歳月が流れました。本校は志太様原を中心とした俊秀が集い県下屈指の名門校として名実共に発展してまいりました。この誠実に喜びに堪えません。この間二万人余りの卒業生が巣立ち各地各方面で活躍されております。同じ学舎で多感な青春時代を過ごした同窓生各位はそれぞれ忘れられない思い出を持っており、これらを生かして生きておられます。同窓会の使命は会員相互の親睦と母校発展の支援であります。手元にある「五十年誌」「会報(千南原)」「会員名簿」等に目を通してみたい。これまで同窓会を維持発展させてこられた歴代の会長を始めとする役員の方々や諸先輩の物心両面に渡る多大なご支援「ご尽力」に対し深く感謝申し上げます。しかし残念ながら昭和四十三年に先輩の汗の結晶で竣工した同窓会館は本来の役割である事務局や会員交歓の場としての機能を果たしておりませんし、昭和五十二年から五

特別顧問・望月靖彦校長・常任委員・久永正夫(28回) 小長谷節子(30回) 久保田満(31回) 三輪昌光(31回) 飯塚秀彦(33回) 八木和夫(34回) 大塚義典(34回) 西川英雄(35回) 倉嶋伸康(36回) 竹下芳太郎(39回) 青嶋 清(40回) 鈴木國近(41回) 佐々木百合香(45回) 相川敏江(46回) 松永勝裕(52回) 監事・堀田公一郎(34回) 村松淳旨(49回) 新体制スタートにおける今後の同窓会活動委員会の設置 名簿・会報・組織規約・80周年記念事業の4つの委員会を設置し、委員会活動を積極的に進めてまいります。 同窓会は、基本的には各回の集合体であると考えています。その別役員と本部とのコミュニケーションをとるために別役員が必要であります。今後についても各役員と協力し、次回総会時までに全体の組織を決定し、ご提示できるようにしていきたいと考えております。 原則各回ごとに3名を選出し1名の代表幹事を決めていきたいと考えております。 支部活動の充実 支部別の活動を活性化し、支部役員は本部と連絡、調整の役割をしていきます。 同窓会の定期的発行 同窓会の主たる事業として、全会員に会報を年一回発行してまいります。 "新生" 藤枝東同窓会 「名門藤枝東」の名にふさわしい同窓会を築いていくための組織づくりを、皆様の協力のもと進めてまいります。今後の同窓会発展のために更なるご支援、ご尽力を賜りたくお願いする次第です。

十七年にかけて募集された「同窓会募金」の運用に関しても金融情勢の変化等により考え直さなくてはならない時期にきております。また同窓会活動のペースとなる会報は平成十年以降発行されておられませんし、会員名簿は昭和四十八年の初版で数度にわたって改訂されてきたがメンテナンスは難しく、正しい変更情報が入りできない別組織ルートを確立しなければ不可能であります。全員の同窓会組織は年度別が基本でありこの整備強化なくしては同窓会の発展はありません。早速ご案内の通り責任感の強い委員長のもと四つの委員会を結成し始動してまいります。何とか本年度中には目途をつけたいと存じます。

サッカーの近年の活躍は、天下に名を馳せた名門復活を予感させ、この度の山岳部、水泳の総体全国優勝は我々の大きな喜びであり誇りとするところであり、そして学業、進学においても向上目覚ましいと伺っております。同窓会も新たな気持ちで改善強化を図り、ここ二三年の間に全員参加の同窓会開催を目指し、八十五周年あるいは九十周年を皆様で祝おうではありませんか。積極的な参加と絶大なご支援を心よりお願い申し上げます。

「千南原」第一八号を発行します。八十周年を迎え久しぶりの発行です。前回は平成十年発行から六年目となり今回は八十周年の特集記事を中心に編集しました。 同窓生にとっては、母校・同窓会の様子や在校生・同窓生の活躍を、同じ知ることの出来る唯一の大切な情報源が、同窓会報ではないでしょうか。 会報の発行は同窓会の発展に合わせ、これから毎年一回の発行を目標としていきます。 今回の会報は四ページの紙面構成で、記事掲載に限りがあり学校の現状や同窓生の集まりなど意を尽くせませんでした。次号は、他校の同窓会報に並ぶように、紙面の拡大と充実を図りながら、学校と同窓生の「メール便」のような会報を目標として、取組んでまいります。 マルチメディアの時流ですので、ページものの会報と合わせて、既に開設されているホームページの充実を図り、トピックス等の迅速な広報を進めてまいりますので、ぜひ閲覧いただきご意見を寄せ下さい。

この度平成十六年七月より同窓会の役員が交代になり、新会長に横田 堯氏が就任し各役員が一新されました。今年度本校も創立八十周年を迎え、卒業生も志太中当時より約二万名を数えます。 この八十周年を期に、横田新会長のもとで現在よりもっとすばらしい同窓会にしたい、またその絆となる同窓会名簿についてもっと充実した内容のあるものにしてほしい、そんな願いから新たに同窓会名簿委員会が発足しました。 日本全国、いや世界各国で活躍している諸先輩、同窓生の活躍が一目で分かるような名簿作成をめざし、新メンバー十名で努力して参りたいと思っております。 今後の方針として 一、これから発行する平成十九年一月発行予定号(第七号)までに各編集委員と会を重ねて内容のある名簿を作りたい。 二、現在県下の各高校で製作している同窓会名簿等を参考に、良い所を盛りこんでやっていきたい。 三、各諸先輩の活躍が解かる様な広告頁も多く刷りこみたい。 四、同窓会名簿として同窓生の情報収集、名簿の管理を確立したい。

「千南原」第一八号を発行します。八十周年を迎え久しぶりの発行です。前回は平成十年発行から六年目となり今回は八十周年の特集記事を中心に編集しました。 同窓生にとっては、母校・同窓会の様子や在校生・同窓生の活躍を、同じ知ることの出来る唯一の大切な情報源が、同窓会報ではないでしょうか。 会報の発行は同窓会の発展に合わせ、これから毎年一回の発行を目標としていきます。 今回の会報は四ページの紙面構成で、記事掲載に限りがあり学校の現状や同窓生の集まりなど意を尽くせませんでした。次号は、他校の同窓会報に並ぶように、紙面の拡大と充実を図りながら、学校と同窓生の「メール便」のような会報を目標として、取組んでまいります。 マルチメディアの時流ですので、ページものの会報と合わせて、既に開設されているホームページの充実を図り、トピックス等の迅速な広報を進めてまいりますので、ぜひ閲覧いただきご意見を寄せ下さい。

同窓会は組織と規約が基本と考えます。組織は各回の集合体であり、別役員は本部と別回のコミュニケーションの担い手で重要な役割です。別役員は各回三名(代表幹事一名プラス二名)以上を選出し、全回別を網羅させて始めて同窓会活動が可能になります。ご自分の別役員を確保して下さい。未決別は至急役員を選出して下さい。今後のお願として、各別・地区別主催の集まりとか各クラブOB会がありましたら、是非事務局まで一報下さい。事務局で各々の活動を把握し、会報・ホームページを通じて紹介したいと思います。伝統ある藤枝東高の同窓会生の皆様!千南原の旗の下に一致団結して同窓会組織を充実させ、少しでも母校の発展に協力しようではありませんか。 《同窓会事務局》 TEL054 (641) 1680 FAX054 (644) 0923 《ホームページ・アドレス》 同窓会のアドレス http://fujiedahighschool.dousokai.web.infoseek.co.jp/ 学校のアドレス http://www.shizuoka-c.ed.jp/fujiedahighsh-h/

新しい企画を続々と打ち出しているという。本校創立八十周年の記念の年に、横田会長を中心に、同窓会が今までにも増して活躍することは、学校としても大変嬉しく、そして心強く感じております。本校発展のため同窓会の末永いご活躍を祈念するものであります。 近年、生徒の活躍には目覚ましいものがあります。今年のインターハイにはサッカー部、陸上競技部、山岳部、水泳部が出場し、山岳と水泳が全国優勝という快挙を成し遂げました。また、サッカー部は全国大会での活躍はちよつと寂しかったですが、昨年のインターハイ、暮れの選手権、今年のインターハイと連続して活躍する生徒達

本校は、平成十五年度から文部科学省の指定を受け学力向上プロジェクトハイスクール事業に取り組んでおります。学力向上に繋がるなら何をやるでも自由となっております。そんな中で、本校の先生方は自らの授業を静岡大学の教授や島田附属中学校の先生方に見せて講評をいただいたり、生徒達から授業終了直後に自分の授業の評価を受けております。生徒先生の頑張り

の学力向上のため生徒に発破をかけるのではなく、自分の仕事をさらけ出し他人の評価を受けることを選びました。 また、学校が週五日制になり学力低下を心配して、進学校のほとんどが土曜日に補習を行うようになりました。もちろん本校も行うようになりました。ただ、本校の特色は講座数が非常に多いこと。これは休みを返上して学校にやってくる先生の数が多いことを意味しています。更に、補習を始めたのが平成十四年の四月で、県下で最も早く実施に踏み切っております。この他、図書館は毎日六時半まで開館して生徒の質問に答えるなど、生徒達の希望を適えようと先生方は力を惜しまず頑張っております。六月に実施された模擬試験で、三年生の平均点が大変良かった。そこである男子生徒に、三年生が頑張っていること、なぜよい成績が取れたかを聞いてみた。その生徒は迷わず「先生方のおかげです。先生たちが頑張っているからです」と即座に答えました。まさに啐啄同時、教師の聲に接した生徒がそれに応える。学園のあり方として最高の姿ではないでしょうか。諸兄の在籍のころと同じく、これからも藤枝東高は志太に輝く星であり続けることでしょう。



望月 靖彦 同窓会 同窓会

県代表となり、激戦地・静岡県の覇者として君臨しております。 文化部も活躍しております。平成十四年に歴史部の研究が全国最優秀賞を受賞したのを始め、十五年には放送部がNHK全国放送コンクールに、今年には棋道部毎年異なる部が全国大会に行くところが凄いです。 勉強の方でも生徒達の頑張りには特筆に値します。様々な試験で、常に県下進学校の中上位を占め、平成十六年三月には全卒業生のうち48・9%の生徒が国立大学に合格し、過去十年間で最高の実績を上げました。

の学力向上のため生徒に発破をかけるのではなく、自分の仕事をさらけ出し他人の評価を受けることを選びました。 また、学校が週五日制になり学力低下を心配して、進学校のほとんどが土曜日に補習を行うようになりました。もちろん本校も行うようになりました。ただ、本校の特色は講座数が非常に多いこと。これは休みを返上して学校にやってくる先生の数が多いことを意味しています。更に、補習を始めたのが平成十四年の四月で、県下で最も早く実施に踏み切っております。この他、図書館は毎日六時半まで開館して生徒の質問に答えるなど、生徒達の希望を適えようと先生方は力を惜しまず頑張っております。六月に実施された模擬試験で、三年生の平均点が大変良かった。そこである男子生徒に、三年生が頑張っていること、なぜよい成績が取れたかを聞いてみた。その生徒は迷わず「先生方のおかげです。先生たちが頑張っているからです」と即座に答えました。まさに啐啄同時、教師の聲に接した生徒がそれに応える。学園のあり方として最高の姿ではないでしょうか。諸兄の在籍のころと同じく、これからも藤枝東高は志太に輝く星であり続けることでしょう。

「啐啄同時」

学校長 望月 靖彦

各委員会より

名簿委員会

委員長 飯塚秀彦 (33回)

会報委員会

委員長 三輪昌光 (31回)

組織規約委員会

委員長 西川英雄 (35回)